

# 富士通グループ 2012年度 経営状況について

2012年12月4日 富士通株式会社 代表取締役社長 山本正已



## 1. 2012年度 上期概況&年間予想

## 2012年度 上期概況(1)



		2011年度 上期	2012年度 上期	前年 同期比	7月 予想比
連結業績	売上高	20,923	20,718	▲205	▲81
	営業利益	70	76	+ 6	+ 26
	四半期純利益	57	▲110	▲168	▲10
営業利益内訳	テクノロジーソリューション	457	470	+ 13	<b>A</b>
	サービス	300	373	+ 73	$\Rightarrow$
	システムプラットフォーム	156	96	▲59	<b>₽</b>
	ユビキタスソリューション	43	104	+ 60	7
	デバイスソリューション	▲48	▲70	▲22	<b>∑</b>
	その他/消去又は全社	▲381	<b>▲</b> 427	▲46	$\Rightarrow$

(単位:億円)

## 2012年度 上期概況(2)



構造改革 既存事業の強化) ■ 国内サービス強化:地域統合(FEAST/FWEST)、中堅民需(FJM)

■ LSIビジネス再編:FSL岩手工場/FIM(後工程)の譲渡

■ ユビキタス:通信プラットフォーム開発合弁ANT設立、FJテン海外生産拡大

グローバル

■ 大型商談の獲得:Lufthansa Sys様(独)/BAA様(英)/BC Hydro様(加)

■ グローバルインフラ拡充:データセンター、コミュニケーション基盤

新サービス

- ビッグデータ活用:クラウド型、オンプレミス型、ソフトウェア
- クラウドサービス:食・農クラウド「Akisai」、laaS型クラウド「FGCP/S5」
- スマートコミュニテイ:会津若松市、タイ、サウジアラビア

テクノロジー

■ スパコン"京"の完成、グローバルでの商談受注

海外:英 HPC Wales様, 台湾中央気象局様, オーストラリア国立大学様

国内:近畿大学様. 九州大学様. 神戸大学様. 東京大学様

<sup>\*</sup> FEAST:(㈱富士通システムズ・イースト / FWEST:(㈱富士通システムズ・ウエスト / FJM:(㈱富士通マーケティング FSL:富士通セミコンダクター㈱ / FIM:富士通インテグレーテッドマイクロテクノロジ㈱ / ANT:アクセスネットワークテクノロジ㈱ / FJテン:富士通テン㈱

<sup>\*\*</sup> Lufthansa System様:航空会社LufthansaグループのICT提供100%子会社 / BAA様:空港運営会社 / BC Hydro様:電力会社

## 2012年度 年間予想(1)

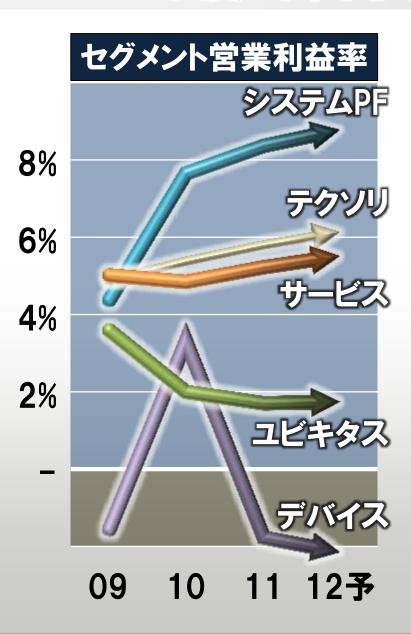


		2011年度 実績	2012年度 予想	前年 同期比	7月 予想比
連結業績	売上高	44,675	44,200	▲475	▲1,100
	営業利益	1,053	1,000	▲53	▲350
	四半期純利益	427	250	▲177	▲350
営業利益内訳	テクノロジーソリューション	1,712	1,800	+ 87	-
	サービス	1,240	1,300	+ 59	-
	システムプラットフォーム	472	500	+ 27	-
	ユビキタスソリューション	199	200	0	▲50
	デバイスソリューション	▲101	▲120	▲18	▲270
	その他/消去又は全社	▲757	▲880	▲122	▲30

(単位:億円

## 2012年度 年間予想(2)





### サービスビジネス

- 産業、流通、公共を中心に堅調
- 欧州大陸を中心にコスト構造や 体制に課題

### システムプラットフォーム

- IAサーバ、ミドルウェアが中心
- 北米通信でキャリア投資動向の影響

### ユビキタスソリューション

- **PCが欧州、国内コンシューマ向けで苦戦**
- 携帯電話は好調

### デバイスソリューション

- 市況の影響を大きく受け減速
- スマホ関連や新製品で下期巻き返し



# ||. 課題認識

### デバイスビジネス



### ファブライトモデルの更なる徹底を継続

#### FSL岩手工場 (株) デンソー様へ売却

- ✓ 高品質の車載製品に強い岩手工場をデンソー様へ譲渡
- ✓ 富士通はグループの生産能力(前工程)を最適化

#### 4/27契約締結

- ·譲渡日:2012年10月1日
- ・「デンソー岩手」(デンソー様100%出資新会社)へ譲渡



#### FIM (後工程) (株) ジェイデバイス (JD) 様へ売却

- ✓ 後工程国内大手JD様(世界大手Amkorの関係会社)へ譲渡
- ✓ JD様との提携で後工程の品質とコスト競争力を向上

#### 8/31MOU締結

- ·譲渡日:2012年内(予定)
- ・宮城・会津は譲渡。九州はJD様へ設備を移設(製造移管)

表 技 FIM会津工場

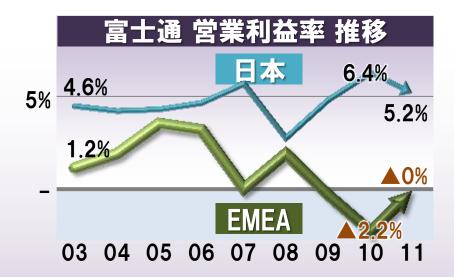
FSL=富士通セミコンダクター(株)

FIM=富士通インテグレーテッドマイクロテクノロジ(株)

- 製造再編(固定費削減)を進めるが、コスト構造が市況変化に対応できず
- 今後もデバイスビジネスの構造改革に、手を緩めず取り組む

### 欧州ビジネス







欧州IT関連市場: Total IT-Telecom Equipment Totalの成長率)(前年比)、欧州新興国: Central and Eastern Europe+Middle East/Africa

### 英国&北欧

- 大規模不採算Project対応は完了 採算重視へ転換/リスク管理を徹底 損失は数百億円(10年)から最小化(12年予)
- 民需系、クラウドを強化 BAA様など大口受注好調。民需比率50%が目標
- 堅調な北欧ビジネスを強化 Sininen Meteoriitti Oy(Finland/アプリ系)へ出資

### 欧州大陸他\*

- ■「サービス化」に向けた事業構造シフト クラウド・サービス比率向上に向けて、製品・体制・ スキルなどを整備・拡充
- 売上の「質」を向上 利益重視のプロダクトミックス、コスト・費用の効率化
- 欧州新興国・中東・印の成長の取り込みロシア・CIS諸国・中東・インドなどで高成長を継続

\*中欧、東欧、中東、アフリカ、インド

- 欧州地域の経済環境の厳しさは継続。当社収益力の改善ペースの遅さ
- サービスビジネスに対応した事業構造、コスト構造への見直しを急ぐ

### 年金債務問題

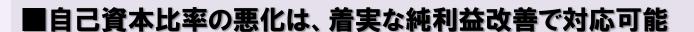


#### 会計基準変更による課題

- ・年金未認識債務のオンバランス
- ・自己資本比率の低下

#### 英国年金基金における課題

- ・年金資産の積立不足
- ・市場金利低下リスク



■英国年金基金への追加拠出(予定)による債務拡大リスクの軽減

### コスト効率の最大化



### 全社コスト削減プロジェクト(2012~2014年)

3つの活動軸

### 調達コストダウン活動(部材・ソフトウェア)

業務革新活動(組織・制度・業務プロセス改革)

経費削減活動(オフィス用品、旅費、通信費等)

- 3つの活動軸から、コスト競争力を最大化
- グループの費用構造を徹底的に見える化
- 部門横断的な課題を、全社活動として展開



- 販管費比率の増加傾向に歯止めをかける為、抜本的な対策を実行
- CFOをヘッドとした、グループ全体でのコスト削減活動として展開中

## プロダクトビジネス(サービスとのバリューチェーン) FUITSU



■ PCは法人向け(海外含)が約8割。企業向けソリューションでシナジーを発揮



# |||. まとめ

## 次なる成長へ向けた課題の克服



#### 経営課題

- ボリュームビジネスの 収益力、業績変動 リスク
- 海外ビジネスの 成長低迷、収益力
- ■コア事業の成長力
  - ・国内ソリューション
  - ・インフラサービス
  - ・システムプラットフォーム
- ■財務基盤
  - 年金オンバランス化
  - ・IFRS対応

### 速やかに実行する 構造改革

- ■デバイス事業再編
- 欧州大陸ビジネスの 収益性向上
- 英国年金の債務拡大 リスク軽減
- 全グループ横串での 事業効率最大化

### 次の収益コアを創る 成長戦略

- 国内シェア拡大の為 の攻めの構造改革
- グローバルな商品力 強化
- 社会インフラを支える 新サービスの展開

- 中期的に成長を継続
- 収益・財務体力強化

テクノロジーをベースとした グローバルにインテグレート された、サービス企業

### マトリクス新経営体制

## 《顧客軸》

## 国内営業部門

海外ビジネス

サービス系 ビジネス

- ■マーケティング
- SEパワー
- プロダクト系 ビジネス
- ■顧客フロント
  - ■技術力強化

グローバルマーケティング・マネジメント

グローバルな統合

### グローバルサービス基盤の拡充



### データセンターのグローバルネットワーク

Stevenage データセンター (ロンドン)



中国華南 データセンター (広東省)



英国

トイツ

Neuenstadt データセンター (ドイツ南部)



中国

館林 システムセンター (群馬県)



Sunnyvale データセンター (カリフォルニア)



米国

シンガポール

Fujitsu East データセンター (シンガポール東部)



オーストラリア

Homebush データセンター (シドニー)



- 中国初の自社所有DC 華南DCを開設 (12年4月)
- 約100センターWW展開 グローバルでの均一な サービス提供の共通基盤

### 新サービスの創造(豊かな未来へ)



### 社会インフラに潜在するニーズをイノベーションに

#### ワークスタイル

- ・遠隔保守(M2Mサービス)
- ・どこでもオフィス
- ·RFID活用
- ・スマートデバイス製品 Arrows Tab、FMV STYLISTIC・・・

#### コミュニティ

- ・交通ICカード
- ・Myルートガイド
- ・ぷらナビ
- MyCloud

#### 食・農

- ・農業クラウド Akisai(秋彩)
- ・UECSクラウド (施設園芸、植物工場)

#### ものづくり

- ・ものづくり革新隊
- ・エンジニアリングクラウド
- ・予防型リスク分析ソフトウェア 「Riskmining Navigator」



#### スマートシティ

- ·会津若松市
- ・タイ
- ・サウジアラビア

#### モビリティ

- Logifit
- ・商用車運行支援 (ヒヤリハット、エコ&セーフティ)
- ・道路ネットワーク維持管理支援 (橋梁、舗装)

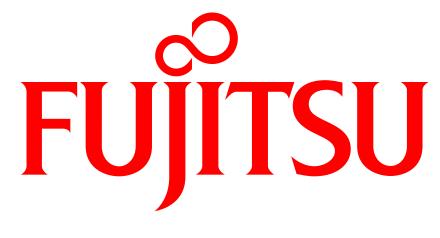
#### ヘルスケア

- · Human Bridge
- •健康総合支援(事務、分析)
- ・高齢者ケアクラウド(在宅医療)
- ・どうぶつ医療/ペット健康管理

#### エネルギー

- クラウド型スマートハウス
- ・エネルギーマネジメントシステム SSPF VO1、FEMS
- Enetune
- ・コンテナ型データセンター

### 個人、企業、業界を越えたバリューチェーンの構築へ



shaping tomorrow with you

### 免責事項

このプレゼンテーション資料、及びミーティングで配布されたその他の資料や情報、及び質疑応答で話した内容には、現時点の経営予測や仮説に基づく、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述において明示または黙示されていることは、既知または未知のリスクや不確実な要因により、実際の結果・業績または事象と異なることがあります。

実際の結果・業績または事象に影響を与えうるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。

(但しここに記載したものはあくまで例であり、これらに限られるものではありません)

- 富士通の提供するサービスまたは製品にとって主要な地域(アメリカ合衆国、EU諸国、日本、その他アジア諸国など)のマクロ経済環境や市況動向。中でも当社顧客のIT支出に影響を及ぼすような経済環境要因。
- 急速な技術変革や顧客需要の変動。及び富士通が参入しているIT市場、通信市場、電子デバイス 市場での激しい価格競争。
- 他社との戦略的提携や、合理的条件下での他社との取引を通じて、富士通が特定のビジネスから撤退し、関連資産を処分する可能性。およびこのような撤退・処分から発生する損失の影響。
- 特定の知的財産権の利用に関する不確実性。特定の知的財産権の防御に関する不確実性。
- 富士通の戦略的提携企業の業績に関する不確実性。
- 富士通の保有する国内外企業の株式の価格下落が、損益計算書や貸借対照表などの財務諸表に 与える影響。およびこの保有株式の株価下落により発生した富士通の年金資産の評価減とこれを 補うために追加拠出される費用の発生による影響
- 顧客企業の業績不振、資金ショート、支払不能、倒産などに起因する売掛債権の回収遅延や回収 不能によって、当社が被る損害の影響
- 富士通が売上高をあげている主な国の通貨、および富士通が資産や負債を計上している主な国の 通貨と日本円との為替レートの変動により発生する為替差損益の影響(特に、日本円と、イギリスポンド、アメリカドルとの間の為替差損益の影響)